

# 大津地蔵祭

■題字協力 翔陽高校書道部 2年 いわたしおん 岩下詩音さん



13

6 高校生のクラスはより高い技術で見たえのあるダンス7 観客に向けて笑顔振りまきながらダンス8 親子で楽しめる射的には長い列ができていました9 大津音楽幼稚園のマーチングでは日ごろの練習の成果が披露されました10 最年少ステージ発表者がかわいらしいパンコールのきらびやかな衣装で登場11 少林寺拳法の息をのむほどの激しい演舞12 携帯電話でパシャリ13 祭りのフィナーレは今年も花火が夜空を照らしました



6



1

## 大津地蔵祭の起源

大津地蔵祭はもともとは鶴口橋際に鎮座の一基の地蔵尊を祭る行事が変化したものといわれています。

大津町史によると鶴口一帯は細川家臣米田監物公が矢開きを催した場所で、別名「監物さんの矢開き場」とも呼ばれていました。鳥獣の冥福を祈るため小さな祠を祭り、後に飢きんや上井手で溺れて亡くなった子どもたちの弔いのための地蔵尊と一緒に祭った場所です。

1850年ごろの記録に「鶴口地蔵・松古閑地蔵祭存外賑合申し候」の記事があることから、これより前から大津地蔵祭が賑わっていたことがわかります。

1900年ごろには町内各地で地蔵を祭るようになり、梅の造花を飾ったり、子ども相撲が開催されたり縁日が盛り上がる、今日の大津地蔵祭の原型ができあがりました。今も昔も子供たちのための町を代表するお祭りの一つです。



7



8



9

今年も盛大に開催  
毎年恒例の大津地蔵祭が8月23日、24日に大津中央公園で行われました。  
翔陽高校書道部のパフォーマンスから開会し、メインステージでは町内外から20の団体が歌や踊りなどを披露し、会場は興奮と熱気に包まれていました。ステージを盛り上げる子どもたちの自然な笑顔に大人たちもつられて笑顔になる、心温まるイベントになりました。  
祭りの最後には、花火が上がると、会場の熱気は最高潮。大津町の夏を締めくくりました。



10



11



12



12



13

1 大津太鼓童会の子どもの演奏 大きなかけ声が太鼓とともに響きます2 元気いっぱい声援に応えるダンス3 翔陽高校の書道部による書道パフォーマンス4 夏の思い出に友だちと記念撮影5 会場では大津町らしくからいもの振る舞いもありました

2